

6. 情報源への接触

[2] 投票日までに、今回の住民投票に関して、あなたが見たり、聞いたりしたものがこの中にありましたら、 <u>全部</u> マルを付けてください。			
		%	有効%
(ア)町が作成したパンフレット	757	78.4	79.8
(イ)賛成派・反対派などのチラシ	745	77.1	78.5
(ウ)テレビ	386	40.0	40.7
(エ)新聞	469	48.6	49.4
(オ)街頭演説	136	14.1	14.3
(カ)インターネット	21	2.2	2.2
(キ)近所の住人との会話	370	38.3	39.0
(ク)この中のどれも見聞きしない	40	4.1	4.2
(ケ)その他	26	2.7	2.7
有効回答数	949	98.2	100.0
無回答・他	17	1.8	
合計	966	100.0	

[3] ではこの中で、一番参考にしたものを、 <u>一つ</u> 選んでマルを付けてください。			
		%	有効%
(ア)町が作成したパンフレット	200	20.7	23.0
(イ)賛成派・反対派などのチラシ	235	24.3	27.0
(ウ)テレビ	14	1.4	1.6
(エ)新聞	61	6.3	7.0
(オ)街頭演説	0	0.0	0.0
(カ)インターネット	1	0.1	0.1
(キ)近所の住人との会話	73	7.6	8.4
(ク)集会・学習会	25	2.6	2.9
(ケ)その他	18	1.9	2.1
(コ)参考にしたものはない	209	21.6	24.0
(サ)わからない	35	3.6	4.0
有効回答数	871	90.2	100.0
無回答・他	95	9.8	
合計	966	100.0	

〔2〕では、回答者の8割近くが町作成のパンフレットや賛否両派などのチラシを見たことが明らかとなった。また〔3〕では、一番参考になった情報源として、両派のチラシや町作成のパンフレットを挙げた人が多く、テレビ・新聞などのマスコミ媒体を挙げる人は予想以上に少ない結果となった。やはり、合併を問う住民投票では、町の中から出てくる情報がより重要なものとなるようである。その一方で、ここでも「参考にしたものはない」という回答が目立つが、上に列記したような情報源に一切頼らず、自分の考えだけで投票した有権者も少なくなかったと言えそうである。